

第1回 技術情報防衛シンポジウム ～企業の大切な技術情報を守るために～

日時

平成 26 年 9 月 5 日 (金)

10 : 00 ~ 16 : 45

会場

コクヨホール

(東京都港区)

共催 :



国際知的財産保護フォーラム



一般社団法人 日本知的財産協会



独立行政法人 情報処理推進機構



経済産業省

目次

シンポジウムプログラム.....	1
開催にあたって.....	2
講演者・モデレーター・パネリストの紹介.....	3

講演資料

講演Ⅱ

- サイバーセキュリティの観点より、営業秘密情報が置かれている状況について
名和利男氏（株式会社サイバーディフェンス研究所 理事／上級分析官）
- 企業における内部不正の現状と内部不正防止ガイドラインの紹介
小松文子氏（独立行政法人情報処理推進機構 技術本部 セキュリティセンター
情報セキュリティ分析ラボラトリー長）

講演Ⅲ

- 変動する経済環境と営業秘密法制 ―米国経済スパイ法をめぐって―
玉井克哉氏（東京大学 先端科学技術研究センター 教授）

シンポジウムプログラム

- 9 : 15 開場
10 : 00～10 : 10 開会の挨拶
(日本知的財産協会 営業秘密プロジェクトリーダー 佐々木剛史)

講演Ⅰ

- 10 : 10～10 : 30 「営業秘密保護について」**
木尾修文氏 (経済産業省 経済産業政策局 知的財産政策室長)

講演Ⅱ

- 10 : 30～11 : 40 「サイバーセキュリティの観点より、
営業秘密情報が置かれている状況について」**
名和利男氏 (株式会社サイバーディフェンス研究所 理事/上級分析官)
- 11 : 40～12 : 30 「企業における内部不正の現状と内部不正防止ガイドラインの紹介」**
小松文子氏 (独立行政法人情報処理推進機構 技術本部
セキュリティセンター 情報セキュリティ分析ラボラトリー長)

- 12 : 30～13 : 30 昼休憩

講演Ⅲ

- 13 : 30～15 : 00 「変動する経済環境と営業秘密法制—米国経済スパイ法をめぐって—」**
玉井克哉氏 (東京大学 先端科学技術研究センター 教授)

- 15 : 00～15 : 15 休憩

パネルディスカッション

- 15 : 15～16 : 40 「企業における秘密情報管理」**
モデレーター 伊藤弘道氏 (三菱重工業株式会社 技術統括本部 知的財産部 部長)
パネリスト 浅田学氏 (積水化学工業株式会社 知的財産部 担当部長)
三原秀子氏 (帝人株式会社 技術本部 本部長補佐 知的財産担当)
峯木英治氏 (株式会社ブリヂストン 知的財産本部 本部長)
古川靖之氏 (キヤノン株式会社 知的財産法務本部長室 専任主任)
- 16 : 40～16 : 45 閉会の挨拶
(独立行政法人情報処理推進機構 技術本部 セキュリティセンター
情報セキュリティ分析ラボラトリー長 小松文子)
- 16 : 45 閉会

開催にあたって

本日は、「第1回 技術情報防衛シンポジウム」へ多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございます。

営業秘密の保護については、以前からその重要性が唱えられておりましたが、近年、特に営業秘密の流出は世界における大きな問題となっており、各企業は、いかに自社の情報を守るかの対策を講じる必要に迫られています。

経済・産業のグローバル化、情報のデジタル化、人材流動の活発化など、ビジネス環境の変化は情報の流出を容易にし、この拡散も非常に早い状況です。一旦流出した情報を全て回収することはほぼ不可能に近いと見られ、防衛を誤ると企業としての重要な資産を瞬時に失いかねません。情報の流出は、一企業としての損益や社会的信頼性の低下を招くだけでなく、我が国の産業競争力に影響を与える大きなリスクです。

「人材を通じた技術流出に関する調査研究報告書」（平成25年3月）によれば、過去5年間の人を通じた営業秘密漏えいの有無に関して、何らかの漏えいを経験していると回答した企業は13.5%である一方、情報漏えいの事実はないと回答した企業は70.3%と多くを占めています。しかし、本当に情報漏えいは起こっていないのでしょうか。我々に見えている情報漏えいは氷山の一角に過ぎないのではないのでしょうか。認識出来ていないリスクは計り知れません。

このような背景を受け、政府は「知的財産推進計画2014」の重要施策のひとつである「産業競争力強化のためのグローバル知財システムの構築」の項目として「営業秘密保護の総合的な強化」を挙げています。では、具体的に何に注意を払い、どのように強化をしていくべきなのでしょう。営業秘密の漏えい事例や管理体制を企業間で共有することは、企業の情報セキュリティを公開することとなる可能性があるため、困難な課題であると言われてきました。よって、今回、官民で営業秘密の漏えい事例や対策について情報を共有する組織として、国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）の第5プロジェクトを発足致しました。本シンポジウムは、当プロジェクトの幹事である日本知的財産協会（JIPA）の営業秘密プロジェクトチームが企画・立案し、IIPPFと情報処理推進機構（IPA）、経済産業省の共催する、日本の情報資産を防衛するための知恵が集まる貴重な会となります。

日本の産業競争力の依存度は、有形財産から無形の知的財産、とりわけ技術情報に極めて高いことに鑑み、今回と合わせて今年度3回予定しているシンポジウムは、あえて『技術情報防衛』とさせていただきます。日本の産業財産として技術情報を保護していくため、2015年の通常国会での成立に向けて進められている、罰則強化をにらんだ営業秘密保護の法整備と車の両輪をなすべく、産業界として企業による技術情報保護の体制強化に貢献できればと考えております。

平成26年9月5日

一般社団法人 日本知的財産協会
営業秘密プロジェクトリーダー 佐々木 剛史

講演者・モデレーター・パネリストの紹介

【講演者】

木尾 修文 (Osafumi Kio)

経済産業省 経済産業政策局 知的財産政策室長

<経歴>

- 1997年3月 東京大学法学部卒
- 1997年4月 通商産業省入省（特許庁総務課）
- 1999年6月 産業政策局企業行動課
- 2002年1月 製造産業局自動車課
- 2002年6月 大臣官房会計課
- 2004年6月 外務省（在マレーシア日本大使館）
- 2007年6月 経済産業政策局産業組織課
- 2008年6月 商務情報政策局商務課
- 2009年7月 消費者庁総務課
- 2011年7月 製造産業局化学物質管理課
- 2013年6月 特許庁総務課（政策企画委員）
- 2014年7月 経済産業政策局知的財産政策室長

名和 利男 (Toshio Nawa)

株式会社サイバーディフェンス研究所 理事／上級分析官

<略歴>

航空自衛隊において、信務暗号・通信業務／在日米空軍との連絡調整業務／防空指揮システム等のセキュリティ担当（プログラム幹部）業務に従事。その後、国内ベンチャー企業のセキュリティ担当兼教育本部マネージャ、JPCERT/CC 早期警戒グループのリーダーを経て、サイバーディフェンスに参加。専門分野であるインシデントハンドリングの経験と実績を活かして、CSIRT（Computer Security Incident Response Team）構築及び、サイバー演習（机上演習、機能演習等）の国内第一人者として、支援サービスを提供している。株式会社サイバーディフェンス研究所のCSIRTであるCDI-CIRT の設立者。

小松 文子 (Ayako Komatsu)

独立行政法人情報処理推進機構 技術本部 セキュリティセンター
情報セキュリティ分析ラボラトリー長、博士(情報学)

<略歴>

1981年 日本電気株式会社(NEC)入社。基本OS開発、ネットワークプロトコル国際標準化活動、情報セキュリティ評価認証制度の国内導入プロジェクト参画を経て、公開鍵暗号基盤をはじめとする情報セキュリティ製品の研究開発、多数のプロジェクトへの技術支援に従事。2004年NECプロフェッショナル制度により上席システムズアーキテクト認定。2007年(独)情報処理推進機構へ出向し、翌年、新設された情報セキュリティ分析ラボラトリー、ラボラトリー長。2009年NEC中央研究所 技術主幹にてNECを早期退職。情報セキュリティに対する、社会科学的小および行動科学的な観点からの研究を進める。毎年出版している「情報セキュリティ白書」の編集責任者。2012年より(独)経済産業研究所コンサルティングフェロー。現在、兵庫県立大学大学院、電気通信大学大学院、駒澤大学にて非常勤講師。2014年2月 第10回情報セキュリティ文化賞受賞。

玉井 克哉 (Katsuya Tamai)

東京大学 先端科学技術研究センター 教授

<略歴>

1983年3月 東京大学法学部卒業
1983年4月 東京大学法学部助手(行政法)
1986年4月 学習院大学法学部講師(行政法)
1988年4月 学習院大学法学部助教授(行政法)
1990年4月 東京大学法学部助教授(行政法・知的財産法)
1995年10月 東京大学先端科学技術研究センター助教授(知的財産法)
1997年5月 東京大学先端科学技術研究センター教授(知的財産法)

<主な兼職>

- ・弁護士(第一東京弁護士会所属)
- ・政策研究大学院大学客員教授
- ・慶應義塾大学非常勤講師(総合政策学部、法科大学院)
- ・NPO法人 知的財産研究推進機構(PRIP)理事
- ・日本音楽著作権協会(JASRAC)理事
- ・社団法人オープンイノベーション促進協議会理事

【モデレーター】

伊藤 弘道 (Hiromichi Ito)

三菱重工業株式会社 技術統括本部 知的財産部 部長

<略歴>

1984年3月 早稲田大学 大学院 修了

1984年4月 三菱重工業株式会社入社

2011年4月 同社 知的財産部長

2014年4月より JIPA 常務理事

【パネリスト】

浅田 学 (Manabu Asada)

積水化学工業株式会社 知的財産部 担当部長

<略歴>

関西大学工学部応用化学科卒業

電機会社勤務

2003年12月 積水化学工業入社

2007年より現職

2012年より JIPA マネジメント委員会委員長

三原 秀子 (Hideko Mihara)

帝人株式会社 技術本部 本部長補佐 (知的財産担当)・帝人グループ理事

<略歴>

1974年3月 千葉大学 薬学部 薬学科卒業

1974年4月 帝人株式会社入社

1990年11月 弁理士試験合格・弁理士登録

2002年4月 知的財産センター長

2003年4月 (株)帝人知的財産センター 代表取締役社長

2011年6月 帝人グループ常務執行役員

2012年10月 帝人株式会社 知的財産部長

2014年4月 帝人株式会社 技術本部本部長補佐 (知的財産担当)・帝人グループ理事

峯木 英治 (Eiji Mineki)

株式会社ブリヂストン 知的財産本部 本部長

<略歴>

1980年3月 東京大学 理学部 物理学科卒業

1980年4月 株式会社ブリヂストン入社

2000年11月 同社 TB タイヤ開発部長

2001年7月 同社 OR タイヤ開発部長

2003年11月 ブリヂストンアメリカ アクロン技術センター派遣
同社生産財タイヤ開発担当 VP

2008年10月 株式会社ブリヂストン AG・CV タイヤ開発部長

2009年7月 同社 知的財産第2部長

2010年4月 同社 知的財産本部長

古川 靖之 (Yasuyuki Furukawa)

キヤノン株式会社 知的財産法務本部長室 専任主任

<略歴>

中央大学法学部卒業

知的財産関係の法制度改正を担当しており、

営業秘密関連では、2003年の営業秘密侵害罪の創設以降の法制度改正に携わってきた。

講演資料